

普及だより

第141号 令和4年10月
茨城県 鹿行農林事務所
行方地域農業改良普及センター
行方地域農業改良推進協議会
電話 0299(72)0256
FAX 0299(72)1690

サツマイモ基腐病の防除対策 ～収穫期から貯蔵期にかけて～

サツマイモ基腐病の理解を深め、対策を徹底することが大切です。

今回は、サツマイモの収穫期から貯蔵期にかけての防除対策について紹介します。

①収穫の準備について

収穫前に、必ず圃場をよく観察し、枯れた株、黄化している株がなにかよく確認をしてください。また、収穫に使用するコンテナをよく洗浄し、ケミクロンGなどで消毒します。

②収穫時の対応について

収穫したイモをよく観察し、なりつるが黒く変色していないか、イモのなり首側からの変色や腐敗がないか確認します。万が一、上記症状がみられた場合には、収穫作業をやめて、抜き取りや処分を行わず、普及センターまで連絡をお願いします。

③貯蔵中について

貯蔵中のイモは、月に1回程度、

腐敗などがないか確認しましょう。疑わしい症状のイモを見つけた場合は、そのイモが含まれるコンテナを貯蔵庫から外に出して隔離します。

④収穫後の圃場について

収穫終了後は、圃場に残った残渣は、腐熟を促進するため細かく粉砕し、丁寧に耕耘します。また、残渣の分解には、地温が重要ですので、収穫後はできる限り早い時期に耕耘することが重要です。



写真出典：生研支援センターイノベーション創出強化研究推進事業(01020C)

令和3年度版マニュアル「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策」

https://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/151859.html

第2回いばらき米の極み頂上 コンテストが開催されます

昨年度から開催された、茨城で一番おいしい米を選ぶ、「いばらき米の極み頂上コンテスト」が今年も開催されます。

応募資格は首都圏への販路拡大に意欲的な県内の生産者か法人となります。出品要件は、1個人、法人につき1点で、今年度生産された農産物検査を受けたものとなります。

出品料は無料で、出品申し込み期間は9月15日から10月14日までとなります。

最優秀賞を獲得した米は、都内飲食店などへの売り込みや、アンテナショップでの販売、SNSを通じた情報発信などを県がサポートします。

申込方法については普及センターに相談、または「茨城県産地振興課HP」をご覧ください。



～農作物や農業機械の盗難に注意しましょう～

令和4年度認定 青年農業者のご紹介

根田倫行さん（行方市吉川）



行方市北浦地区において、レンコン栽培に取り組んでいます。平成30年にレンコン経営を両親から継承し、経営発展に意欲的に取り組んでいます。

レンコン後継者で構成される「なめがたLR育成会」の設立に尽力し、同会の活動等を通してレンコンの栽培技術改良や経営改善に取り組んでいます。

レンコン経営の若手農業者としてますますの活躍が期待されます。

青年農業者 退任者のご紹介

方波見諭さん（H21年度認定）

宮内信治さん（H26年度認定）

高崎雄太郎さん（H26年度認定）

長い間、お疲れさまでした。

農業学園の紹介



普及センターでは、就農間もない農業者を対象に、農業学園を開催しています。

令和4年度は、6月28日に開講式および第一回講座を開催しました。

第一回講座では、農業経営士の方に講師をお願いし、自身の経営やGAPの取組などについて話をいただき、作業場や施設、圃場の見学も行いました。受講生からは「GAPの取組みや自分の経営と異なる部分を見聞きでき、とても参考

になった。」と評価をいただきました。

今後、「病害虫・農薬適正使用講座」、「農業Week（大規模展示会）視察研修」等5回の講座を開催していく予定ですので、是非ご参加ください。

原料高騰！

今こそ環境にやさしい

適正施肥の取り組みを!!

ロシアのウクライナ侵攻等を背景に、原料の国際市況の上昇や、円安などの影響で肥料の値上げが続いています。

施設栽培などの連作圃場では、肥料成分が偏って土壌中に残存していることがあります。この機会に、土壌中に残存している肥料成分を明らかにして、次作に生かすつつ安定生産と肥料代の削減を目指し、土壌診断に基づいた適正施肥に取り組みしましょう。

普及センターでは毎月、土壌診断を実施しています。ご希望の方は、1か月以上の余裕をもってお申込みください。乾燥させた土壌で1点200g程度、一人最大5点まででお願いします。

農業大学の

学生を募集しています

県立農業大学校では、令和5年度入学生を募集しています。定員は農業部・農学科40名、畜産学科10名、園芸部・園芸学科30名です。また、研究科は10名を募集します。出願資格等については、詳しくは県立農業大学校のホームページでご確認下さい。

◆願書の受付・入学試験

試験区分	願書受付期間	試験日
推進入試 (各学科)	令和4年10月3日(月) ～10月21日(金)	令和4年 11月1日(火)
一般入試 (各学科)	前期	令和4年 12月16日(金)
	後期	令和5年 3月2日(木)
研究科 一般入試	令和4年11月14日(月) ～12月9日(金)	令和4年 12月16日(金)

～風雪害防止のため農業用ハウスの強靱化を行いましょ～